

茨城県立あすなろの郷 放課後等デイサービス

事業所自己評価

公表:令和3年4月1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標, 工夫している点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		2	7	感染症対策を考慮すると狭い。また、隔離できる部屋も必要。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	1		配置数は満たしているが、1対1の対応が必要なケースがある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9			既存の建物利用で難しい所もあるが、カーポートやスロープも設置するなどして、バリアフリー化を進めている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			9	面談や送迎時に要望や意向を聞き、業務改善につなげています。今後は、言葉でいわずらい要望等もあることも想定されるので、アンケート実施も検討していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			9	現在は利用者と事業内での評価のみとなっているので、法人全体での課題として検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			同敷地内の病院スタッフと定期的に医療に関する勉強会等を実施している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		2	7	今後は、アセスメントツールとして田中ビネー知能検査等を取り入れて発達状況を把握し、支援計画に活かしたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			同敷地内の病院スタッフと定期的に会議を開き支援内容の報告と精査をする場を設けている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			
関係機 関や保 護者	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8	1		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		2	7	スタッフに限りがあるが、児童発達支援管理責任者だけでなく担当者も出席していく。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか			9	送迎サービスは、行っていないため、保護者を介しての情報共有になっているが、今後は保護者の意向を聞き、学校との情報共有に努めたい。

の連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9				
	関係機関や保護者との連携	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		1	8	保護者を介しての情報共有が主となっている。今後は、保護者の意向を聞き、事業所間での情報共有と相互理解に努める。
		②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		9		学校とは、支援内容等の情報共有は行っているが、放課後等デイサービス事業所等からの情報を得ることは、行っていない。今後は、保護者の意向を聞いたうえで対応していきたい。
		②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			9	例年は研修等に参加しているが、コロナ禍のため不参加。
		②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			9	交流の機会を設けたいが、障害の程度や個々の意思を重視したい。
		②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			9	対応できる職員に限りがありあまり積極的には参加できていないが、情報提供はある。
		②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			
		②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		1	8	面談や送迎時に、対応などのアドバイスは行っているが、ペアレント・トレーニング等の支援は行っていない。今後は、まず、職員に対してペアレント・トレーニングの知識を習得できるように研修の機会を設ける。
		保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9		
③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		9				
③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		9				
③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		9				
③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		9				
③⑮	個人情報に十分注意しているか		9				
③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		9				
③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6		3	R2年度はコロナ禍で行事等は中止や縮小となった。	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9				
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9				
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9				
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9				
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9				
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9				

○ この「茨城県立あすなるの郷 放課後等デイサービス 事業所自己評価」は、事業所全体で行った自己評価です。